

平成24年2月28日

報道関係者各位

東急不動産株式会社

「東日本復興応援プロジェクト from 銀座」
東日本大震災から1年を迎える
3月11日に銀座から鎮魂の想いと希望の光を届けます

東急不動産株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:金指潔)が、銀座数寄屋橋交差点に位置する銀座TSビル(旧銀座東芝ビル)で展開中の「東日本復興応援プラザ」において、東日本大震災から1年を迎える平成24年3月11日(日)に、復興を祈る集いが開催されますのでお知らせいたします。

◆東日本大震災復興を祈る集い ―忘れてはならないことがある―

東日本大震災復興を祈る集いでは、「3.11」の記憶を風化させることなく、改めて心を寄せるため、鎮魂・願い・希望をテーマに、被災地と銀座をつなぎます。

名称 : 東日本大震災復興を祈る集い (<http://www.ginza-fukkou.jp>)

日時 : 2012年3月11日 11時から21時 ※ライトアップは18時30分から翌日午前0時まで

会場 : 銀座TSビル 東日本復興応援プラザ ※物販店舗は通常営業しております。

概要 : ●献花台を設置して、皆様からの鎮魂の想いを受付けます。

お配りした献花を捧げていただくことでフラワーアートをつくり、被災地に鎮魂の想いを届けます。

●東日本復興応援プラザの周囲を彩り、復興への願いを込めてキャンドルを灯します。

東日本復興応援プラザをフラワーアーティスト中川聖久氏による路面アートで彩り、来館頂いた皆様に復興への願いを込めてキャンドルを灯して頂きます。

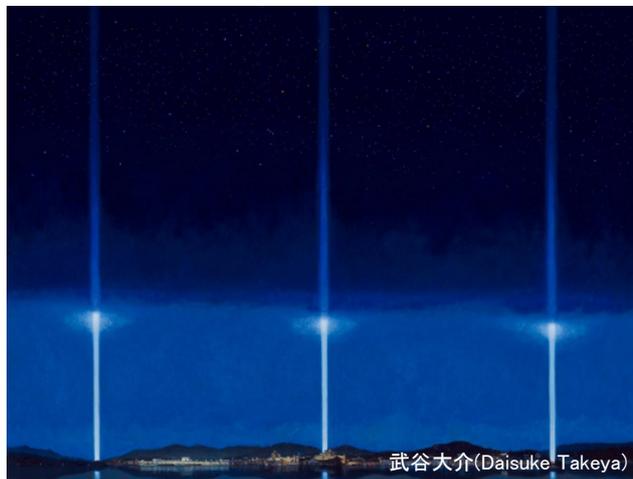
●気仙沼開催の「3月11日からのヒカリ」プロジェクトと連動して銀座に光の柱を立ち上げます。

2012年3月11日。気仙沼の内湾(鼎が浦)では、悼みと希望を込めて、日の入り後3本の光が立ち上がります。東日本復興応援プラザでも気仙沼の呼びかけに合わせて、過去・現在・未来を意味する3本の光を銀座の空へ立ち上げます。

光に想いを届けていただくことで、被災地の未来を照らす希望の柱となることを願います。



銀座TSビルからの点灯イメージ



気仙沼「3月11日からのヒカリ」の点灯イメージ

武谷大介(Daisuke Takeya)

■「3月11日からのヒカリ」(<http://311hikari.jp>)

気仙沼の有志が実行委員会を設立して、東日本大震災から1年を迎える3月11日の夜、追悼と復興の願いを込めた光の柱を立てるプロジェクト。気仙沼の象徴である内湾(鼎が浦)の柏崎、神明崎、蜂ヶ崎の3箇所に日没から翌12日の午前零時まで約6時間にわたり光をたて、そのひかりが人々の気持ちを寄せ合い、震災の記憶を刻む碑となり、未来を照らす灯となることを願う。

■フラワーアーティスト Massa Nakagawa

2004年 MASSA&ARTIST設立。世界的に有名なリゾートホテル、アマンリゾート、リッツカールトンのフラワーデコレーションを監修。また、スーパーブランドの装花をはじめ人気ミュージシャンのプロモーションビデオやコンサートなどの大掛かりなフラワーデザインを手掛けている。

主催：東日本復興応援プラザ

《気仙沼商工会議所、銀座農園株式会社、こどものための柴基金(NEVER FORGET東北)》

協力：八戸商工会議所、久慈商工会議所、宮古商工会議所、釜石商工会議所、大船渡商工会議所、仙台商工会議所、石巻商工会議所、塩釜商工会議所、いわき商工会議所、気仙沼地域開発株式会社、3月11日からのヒカリ実行委員、LIGHT UP NIPPON、株式会社キバンインターナショナルヤフー株式会社(東日本大震災 写真保存プロジェクト)、プロジェクト名もない絆、東急不動産株式会社

■銀座TSビル(外観写真)



住所:東京都中央区銀座5-2-1 銀座TSビル

東急不動産グループの復興支援プロジェクト



日本中に笑顔が広がりますように。

忘れてはならないことがある — 2011.3.11

東日本復興応援プロジェクト from 銀座

東急不動産はこのビルから被災地を応援しています。

昨年10月より、当ビル屋上看板(有楽町側)にて、左記の本プロジェクトメッセージを発信しています。